2022年度版

POWER RESERVE

はじめに

「パワーリザーブ」は、予備自衛官等教養資料として昭和四十五年に創刊され、「予備自衛官のしおり」の時代を加え、今年度で五十三号となります。本誌が全国の予備自衛官等の皆様の団結、退職予定隊員の予備自衛官等志願への一助となれるよう、また、ご家族や雇用企業主の皆様の制度理解への一助になれるよう、共感できる体験談や関心を持てる記事を掲載しておりますのでご一読いただければ幸いです。

予備自衛官等制度の概要……04

〈特集〉

令和三年度 陸上自衛隊演習……06

〈施策の広場〉

優秀隊員招待行事……15

防衛大臣感謝状贈呈式……17

予備自衛官等協力事業所表示制度……19

Contents

〈招集（教育）訓練の広場〉

予備自衛官招集訓練……22
即応予備自衛官招集訓練……22
予備自衛官補教育訓練……24

〈仲間の広場〉

予備自衛官の仲間から……25
即応予備自衛官の仲間から……27
予備自衛官補の仲間から……29
雇用企業の皆様から……31
ご家族の皆様から……31
常備自衛官から……32
地方協力本部担当者から……34

予備自衛官等福祉支援制度のご案内……35
読者プレゼント……38

予備自衛官等制度の概要

陸上自衛隊の予備自衛官制度は昭和29年度に創設されました。
その後、平成9年度に即応予備自衛官制度が、平成13年度には予備自衛官補制度が発足しました。
ここでは、改めて予備自衛官制度の歴史と概要について紹介します。

■予備自衛官等制度の歴史

● 昭和29年　予備自衛官制度（陸自）発足

● 昭和36年　幹部の採用開始（尉官）

● 昭和45年　予備自衛官制度（海自）発足

● 昭和49年　陸上幕僚長表彰制度の制定

● 昭和54年　予備自衛官訓練センター（朝霞）完成

● 昭和59年　永年勤続者表彰制度の制定

● 昭和61年　予備自衛官制度（空自）発足

● 平成7年　女性予備自衛官採用開始

● 平成9年　即応予備自衛官制度発足

● 平成13年　予備自衛官補制度発足

● 平成16年　佐官（陸自）の採用開始

● 平成23年　初の災害招集（東日本大震災）

● 平成28年　2回目の災害招集（熊本地震）

● 平成30年　3回目の災害招集（7月豪雨）

4回目の災害招集（北海道地震）

● 令和元年　5回目の災害招集（台風19号）

● 令和2年　6回目の災害招集
（新型コロナウイルス感染拡大防止）
7回目の災害招集（令和2年7月豪雨）

■3つの予備自衛官制度

国家の緊急事態に当たっては、大きな防衛力が必要です。しかし、その防衛力を日頃から保持することは効率的ではありません。このため、普段は、必要最小限の防衛力で対応し、いざという時に急速に集める事ができる予備の防衛力が必要となります。多くの国でも、いざという時に急速に戦力を増強するシステムを取り入れています。

わが国においては、これに相当するものとして、即応予備自衛官、予備自衛官及び予備自衛官補の3制度を設けています。

	予備自衛官	即応予備自衛官	予備自衛官補
導入年度	昭和29年度	平成9年度	平成13年度
有事の際の役割	第一線部隊が出動した時に、駐屯地の警備や後方支援等の任務に就きます。	第一線部隊等の一員として、現職自衛官とともに任務に就きます。	
招集区分	●防衛招集 ●国民保護等招集 ●災害招集 ●訓練招集	●防衛招集 ●国民保護等招集 ●治安招集 ●災害等招集 ●訓練招集	●教育訓練招集
平時における（教育）訓練日数	・5日間／年 （3日間と2日間に分割可能です） ※方面総監が特に必要と認める場合、6日間以上の訓練に参加可能	・30日（2日間~4日間程度の訓練を複数回）／年	・予備自衛官補（一般） 50日間／3年以内 ・予備自衛官補（技能） 10日間／2年以内 ※1回5日間
員数	47,900人 ［陸自：46,000人 海自：1,100人 空自：800人］	7,981人 （陸自のみ）	4,621人 ［陸自：4,600人 海自：21人］
処遇等	●予備自衛官手当 4,000円／月 ●訓練招集手当 8,100円／日 ※手当は課税対象になります。 ※公募予備自衛官から即応予備自衛官任用への基本特技取得のための訓練招集手当は日額：8,300円	●即応予備自衛官手当 16,000円／月 ●訓練招集手当 14,200円~ 10,400円／日 ●勤続報奨金 120,000円／1任期（3年） ※手当は課税対象になります。	●教育訓練招集手当 8,500円／日 ※手当は課税対象になります。 ※令和2年度以降の高卒程度の新試験合格者が対象となります。 ※令和元年度以前の試験合格者は7,900円／日となります。
雇用企業給付金		42,500円／月・人 （年額：510,000円） ※給付金は課税対象になります。	
任用（採用）までの流れ	元自衛官／予備自衛官補 選考／教育訓練 予備自衛官	元自衛官／★予備自衛官 選考／選考 即応予備自衛官	主として自衛官未経験者 志願試験 予備自衛官補
最近の予備自衛官即応予備自衛官の災害派遣招集実績	●令和元年東日本台風（台風19号）（R1） ●新型コロナウイルスの感染拡大防止（R2） ●令和2年（2020年）7月豪雨（R2）	●平成30年7月豪雨（H30） ●北海道胆振東部地震（H30） ●令和元年東日本台風（台風19号）（R1） ●令和2年（2020年）7月豪雨（R2）	

★予備自衛官　元自衛官（勤務期間1年以上の者）及び予備自衛官補（一般）を修了した者から任用。

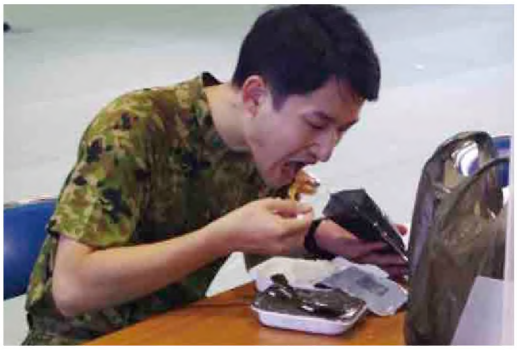
特集

令和三年度 陸上自衛隊演習

令和三年九月から十一月の間、陸上自衛隊は、「不確実性を増す安全保障環境の中、各種事態に実効的に対応するための抑止力・対処力を強化」すべく、作戦準備を焦点とした令和三年度陸上自衛隊演習を実施しました。

予備自衛官ついては、神町、松本、北富士、普通科及び北熊本の計五コ駐屯地において約五百名の予備自衛官を招集、部隊を編成し、駐屯地警備訓練、小銃の基本射撃訓練等の出動整備訓練を実施しました。

様々な職業の予備自衛官（銀行員編）



〇三陸演（出動整備訓練）に参加して

自衛隊
山形地方協力本部
予備陸士長
菅原　陽

私は令和三年九月二十二日から二十六日までの間、陸上自衛隊演習の一環として実施された出動整備訓練に参加しました。今回の訓練は通常の招集訓練とは異なり、各方面隊（地本）が予備自衛官を招集し部隊を編成、各種訓練等を実施して部隊の戦力化を図るものでした。

訓練は主に駐屯地警備や武器訓練を重点的に実施しました。検問や車両検索等付与される状況も一段と高度なもので、実際に招集され任務に就いた際にどのように動くべきか具体的に考える事ができ、非常に勉強になりました。状況中は無線機等の資機材も活用し、より総合的・実戦的な訓練になったと感じました。

近年は自然災害等も含め、「自衛隊の力が必要とされている」と感じる場面が多々あります。私も予備自衛官として、常備部隊が後顧の憂いなく任務に専念できるよう微力ながら努めてまいります。

最後に、本訓練に際しお世話になった関係各所の方々に御礼申し上げます。今後もこういった訓練に積極的に参加したいと思います。

様々な職業の予備自衛官（事務員編）

令和三年度 陸上自衛隊演習における出動整備訓練に参加して

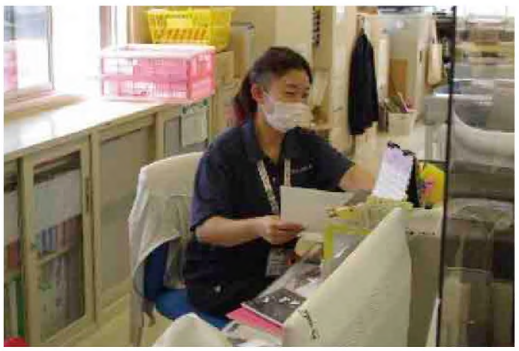
自衛隊
香川地方協力本部
予備陸士長
池田　早紀

十月十一日～十二日までの二日間、善通寺駐屯地で実施された令和三年度陸上自衛隊演習における出動整備訓練に参加させていただきました。今回は、密着取材を受けながらの参加ということもあり、いつもの招集訓練よりさらに緊張しての参加でしたが、予備自衛官の制度について、たくさんの方に知ってもらうお手伝いが出来たことを嬉しく思います。

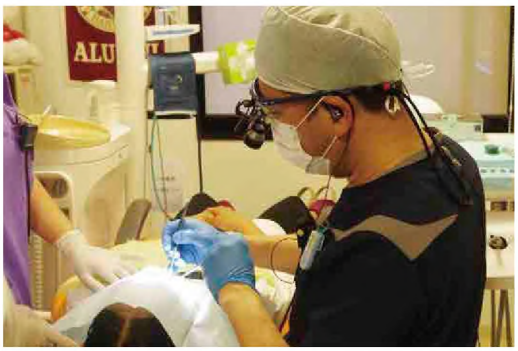
訓練に参加し、全国のたくさんの自衛隊員、予備自衛官の方々が日本を守るために日々活動をされていることを再確認し、胸が熱くなると同時に、私も日々精進しなければいけないと強く思いました。

お忙しい業務の中、私達の指導にあたってくださった富士学校及び体育学校の皆様をはじめ、善通寺駐屯地の隊員の皆様には心から感謝申し上げます。

また、快く訓練に送り出してくれた職場の皆様、予備自衛官であることを応援してくれている家族にも感謝の気持ちでいっぱいです。



様々な職業の予備自衛官（歯科医師編）



令和三年度 陸上自衛隊演習に参加して

自衛隊愛媛地方協力本部
予備二等陸佐
久保田　敦

今回、フジテレビ報道部の密着取材を受ける、非常に稀な機会を頂きました。

事前に、診療中の撮影とインタビューを受け、演習中はもちろん、食堂での食事、隊舎でのアイロンがけ、浴場で入浴の様子迄、カメラに追われる毎日でした。

特に射撃場では、三方向から射撃同時撮影で、おそらく人生で一番緊張した場面でした。

自分には、演習と撮影という相当な疲労でしたが、〝予備自衛官の募集活動に貢献できる放送になって欲しい。〟と願って必死に頑張りました。そして、テレビ放映は、家族や友人に見てもらう素晴らしい内容だったと思います。

技能系公募予備自衛官の私は、毎日診療室で、患者さんに麻酔をかけて、手術をしています。この診療自体が、技能訓練だと考えています。全身麻酔と緊急蘇生学が専門ですので、戦闘外傷救護訓練でも、自分であれば、多くの場面で適切な処置ができると実感しています。

有事の際の、〝配置と役目〟を明確に指示して頂ければ、必ず活躍できると思います。

令和三年度陸上自衛隊演習

○三陸演に参加して

自衛隊山形地方協力本部
予備陸曹長
鏑水　よしみ

私にとって三回目となる今回の予備自衛官招集訓練は、予備自衛官による部隊の編成ということで当初は戸惑いましたが、陸上自衛隊演習のなかの予備自衛官招集訓練ということで、駐屯地の警備を予備自衛官が主体となって実施する訓練や、実戦を見据えた段階的な反復訓練など、カリキュラムの内容が濃い、充実した五日間訓練でした。

また、今回の訓練において報道機関によるインタビューを受けたことは大変印象に残る思い出となっております。

これからも有事の際には、駐屯地の防人として任務遂行ができるように、物心両面の準備、体力の維持に努めていこうと思っています。

最後に、この訓練に「国の為にしっかりと訓練してきて下さい。」と心よく送り出してくれた理事長・施設長に心から感謝しております。

○三陸演に参加して

自衛隊山梨地方協力本部
予備陸士長
遠山　まゆみ

私は公募予備自衛官です。自衛官としての経験の少なさは通常の招集訓練においても感じています。予備自衛官として何ができるのか、経験できることは何でもしてみたい、そんな思いから今回の訓練に参加しました。

駐屯地の部隊が出動した後の後方支援についてどのような任務なのか、どのような動きをするのかを知るための訓練でした。実際に行う任務について想定されたものであり、訓練の内容によっては専門の知識と資格を持つ部隊が担当、或いは外部の指導者を招いて教えていただくなど、より実践に近い状況で行われました。今回の訓練に参加したことにより経験したことを忘れることなく、また今後の訓練においても成長できるようにしていきたいです。

最後になりましたが、今回の訓練参加にあたりご協力いただきました部隊の皆様、地本予備自担当者様、ご一緒させていただきました新潟、山梨の予備自衛官の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

○三陸演に参加して

自衛隊山梨地方協力本部
予備二等陸士
大久保　匠

私は大学一年次に予備自衛官補一般公募で採用され、令和二年度に教育訓練を修了し予備自衛官に任命されました。今回、特別な招集訓練に応じ、予備自衛官に任命されて以降初めて訓練に参加しました。私は予備自衛官である自覚のもと、各種招集に備え日頃から物心両面の準備を心掛けていましたが、今回

の訓練参加に当たり、実際の防衛招集を意識し準備を進めたところ幾つかの課題が見つかり、今回の訓練は今後実際の防衛招集に備え私自身の出頭準備ができる良い機会となりました。訓練参加を通して訓練は私が初めて経験する実践的な内容であり、予備自衛官としての技能や意識の向上に繋がりました。

また、元自衛官である先輩方からノウハウや心構えなど様々なお話を伺うことができ予備自衛官としてだけではなく、人としてまた一歩成長することができたと感じています。今回の訓練参加は私自身にとって大変成果の大きい訓練となりました。

○三陸演に参加して

自衛隊熊本地方協力本部
予備三等陸曹
衛藤　俊

私は現在、熊本県内の私立高校にて社会科の教員をしています。日々教科指導に、部活動の指導に、と大変充実した日々を送っているのですが、この度縁あって、○三陸演に参加する機会を頂きました。短い期間でありますが、職場を離れ、十月三十日から五日間、北熊本駐屯地に出頭いたしました。

約三十年ぶりの自衛隊の大演習とあって、参加する誰もが身の引き締まる思いで臨みました。編成された部隊は、着隊時に示された連隊長の要望事項のとおり、任務部隊としての意識を持つための環境が整っていました。

私たちに課せられたのは有事の際に駐屯地警備を担う事ですが、今回最も印象的だったのは、巡察時に遭遇した不審者の対処要領等について事あるごとに「何が起こっていたか？」「あの時どう対処すべきだったか？」と、私たち個人の意見を聞かれたことでした。あらゆる事態が想定される状況下においては個人レベルの判断力の重要性が増し、そのため一人ひとりにしっかりと思考させる意図があったのだと思います。これは普段私が学校現場で生徒を指導する際にも心がけていることで、ただ受け身の姿勢ではなく積極的に思考、判断、そして表現することが我々予備自衛官にも求められているのだと感じました。

そして今回演習を実施するに当たり、数多くの困難、障壁があったことと存じます。大変お世話になりました。これからも益々部隊としての規律を維持し、かつ思考できる予備自衛官でありたいと思います。

○三陸演に参加して

自衛隊熊本地方協力本部
予備二等陸尉
松本　賢司

自分は、令和四年一月十四日付で予備自衛官を退役します。昭和四十九年四月に入隊し、約四十八年の自衛官としての役割を終えます。

その最後の訓練がこの○三陸演となったことを自分の中で誇りに思います。また、在日米陸軍マシューNメッツェル大佐より、記念メダルを授与して頂くとともに、激励労いのお言葉をかけてもらい光栄の至りであり、これからの渡世の糧としていきます。

今回の陸演は、有事における機能別訓練を主に演練しました。また、毎日鉄帽、六四式小銃携行、サスペンダー、弾帯、弾のう等を

身につけ、朝は早く七時くらいから十七時半過ぎまで部隊行動を取るという、通常の五日間訓練とは違い、時間に厳しく五分前精神で頑張りました。

また武器使用の各段階訓練においては、実際にグループを対峙させ、徒歩、速足、駆け足による対敵行動を習得するまで、何回も演練しました。質の高い有意義な五日間でした。

また、予備自補より予備自になった方々と初めて接することができ、意識の高さやその真剣さに驚かされ感動しました。

最後に一緒に訓練させていただいた連隊、業務隊の方々大変お世話になりました。

令和三年度 陸上自衛隊演習に参加して

自衛隊長野地方協力本部
予備二等陸曹
竹原　和憲

松本駐屯地で実施された陸上自衛隊演習に参加し、普段の招集訓練とは内容も違い充実した訓練に参加出来ました。出頭にあたり、新型コロナ感染予防対策として健康観察、PCR検査など徹底した対策が実施され、新発田、松本部隊の予備自衛官が百名ほど参加しました。本訓練内容は、検問・巡察、第一線救護、施設・通信構築、射撃、武器、格闘拘束術、夜間彼我識別等であり、平成十四年に予備自衛官補に採用、十六年に予備自衛官に任用されて、かねてから自分が望んでいた訓練内容でありました。現在、日本を取り巻く周辺諸国との緊張状態に加えて、国内外の経済状況、新型コロナ感染症対策等予期せぬ事態となっているとともに、長野県内も御嶽山噴火、東日本台風災害等、異常気象に伴う災害招集の可能性も増加している状況の下、大きな課題に対応するべく必要な訓練である事を実感しました。今後も技術、知識の維持及び習得をできるよう上限任期まで努力し、訓練へ参加したいと考えております。今回の訓練参加に際し、御世話になりました関係各位に感謝して御礼申し上げます。

○三陸演に参加して

自衛隊長野地方協力本部
予備一等陸尉
中村　忍

「予備自衛官の招集がかかって出頭し、部隊が編成されて二週間の訓練を経て駐屯地警備の任務につく」という想定で行われた今回の訓練。私は松本駐屯地において、予備自衛官による部隊の小隊長として小隊を率いることになりましたが、実員指揮自体が久しぶりの上に隊員の顔も名前もわからず、最初は大変戸惑いました。今回の訓練では各個訓練から始まり最後は部隊として検問所を運営するところまで行いましたが、わずか三日の訓練

にしては上出来だったと思います。しかし本来なら隊員同士の信頼関係もないところから縦横の関係を築き、二週間で任務を遂行できる練度にまで到達し出動せねばならず、それが容易ではないことを実感しました。今後も積極的に訓練に参加し、微力ではありますが役に立てる予備自衛官でありたいと思います。

施策の広場

優秀隊員招待行事

「令和三年度優秀隊員招待行事」が、十一月十八日（木）、東京都港区の明治記念館で行われました。

この行事は、陸上幕僚長がそれぞれの職務において、優秀な成績を収めた准・曹・事務官等、即応予備自衛官及び予備自衛官を顕彰するものです。

令和三年度 優秀隊員に選ばれて

自衛隊帯広地方協力本部
予備一等陸曹
大串　則明

私は昭和五十五年に高校卒業後、美幌駐屯地にある第六普通科連隊で新隊員教育を受け、その後、第一中隊所属となり通算四年間勤務しました。任期満了退職し、家業である農業を営みながら予備自衛官に採用されました。あっという間に予備自衛官の定年退職も近くなり、招集訓練もあと数年数回と思っていたところ、優秀隊員に選ばれたと聞き驚きました。招待行事会場では、陸上幕僚長ご本人から直接顕彰状を授与され、大変感激しました。今、改めて振り返ると、これもひとえに毎年連続五日間送り出してくれた妻と、招集訓練に出頭している間、仕事面でサポートしてくれた職場の仲間には、感謝しかありません。本来であれば、妻への感謝の気持ちを込めて一緒に出席したかったのですが、諸般の事情でそれが出来ず残念でした。最後になりましたが、この招待行事に携わってくださった全ての方々に対して心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

令和三年度 優秀隊員に選ばれて

自衛隊大阪地方協力本部
予備准陸尉
木谷　善明

私が予備自衛官に志願した理由については、入隊して最初の初詣でした。学生時代は自身の学力成就を祈願していましたが、入隊後に世界平和を祈るようになりました。世界が平和でなければ私の家族も知人も平和に暮らせないと思い自衛隊幹部を志しました。しかし一任期満了時に体調不良となった事をきっかけに医学の道を志しましたが、退官後も国防に関わっていたい思いから予備自衛官を志願しました。

当初はアルバイト生活を送っていたため五日間訓練の参加は容易でした。しかし希望どおり進学出来ず、就職するも勤務の都合で訓練に参加する事が難しくなると、訓練参加しやすい職場環境を求めて転職を繰り返し、不安定な生活を送っていたためすっかり婚期を逃してしまいました（笑）。平成十二年に現職に就職し、訓練に比較的参加しやすい職場に巡り合えました。

平成七年の阪神大震災以降は大規模災害対応訓練、テロ対応訓練、方面隊の実施する特別な招集訓練や中央訓練、転地訓練などの経験は大変有意義でした。

今回の受賞は身に余る光栄で、何ゆえ私が？という思いで神仏に感謝するしかない思いでいっぱいです。

当行事を開催して下さった陸上幕僚長ほか陸上幕僚監部スタッフの皆様に深く感謝申し上げます。

感謝

第四十八普通科連隊
本部管理中隊
即応予備一等陸曹
小林　万枝

はじめに今回受賞のお知らせを聞き、正直実感がわかず家族に伝えたところ、母と娘達が思いのほか喜んでくれたのでうれしかった

です。

受賞日当日、優秀隊員招待行事に参加して陸上幕僚長から直接顕彰状を授与され、同時に慰労の言葉と肘タッチをしていただいた際に、一気に実感がわきました。

また、受賞後に部隊へ伺った際、部隊長をはじめ隊員の方々からあたたかい言葉や家族から素敵な言葉をかけてもらい大変感銘をうけました。

私は、即応予備自衛官一期生として今日まで三十日出頭を続けてこられたのも私に関わっていただいた全ての方々のおかげだと強く思いました。特に、東日本大震災で自宅が半壊しましたが、隣人の皆様の助けにより災害等招集命令に応じることができました。隣人の皆様はもちろん、送り出してくれた娘達に感謝しています。そんな娘達二人は現在、自衛官として勤務してくれています。また、部隊・地域・友人の方々に支えられ、今回の受賞に至ったのだと感謝の念で一杯です。私は、これを機に「緊褌一番」公私共に今後も頑張る所存です。

最後に、第四十八普通科連隊で関わった方々や家族に感謝するとともに、このような機会を与えてくださった皆さま、本当にありがとうございました。

防衛大臣感謝状贈呈式

防衛大臣感謝状を受賞して

大槻理化学株式会社
代表取締役社長
田中　伸一

この度は予備自衛官等雇用功労による防衛大臣感謝状を賜り誠に有難うございます。

弊社は北見市に本社を置き、北海道東部地区を営業基盤として理化学機器・臨床検査機器などの卸販売を営んでおります。

平成十七年に初めて援護センターからご紹介頂いた定年退職自衛官に配送および商品管理の業務に就いて頂き、業務処理や職場環境の整理改善に優れた能力を発揮頂きました。

現在、当該職種は全て退職自衛官で占められており、また昨春には初めて任期制の退職自衛官を採用し、機器類の据付保守の業務に就き期待通りの活躍をして頂いております。

予備自衛官としての皆様には弊社の業容の発展に多大な貢献を頂いており、ご紹介下さ

る地方協力本部及び各駐屯地の援護センターの皆様には深く感謝申し上げております。
末筆ではございますが、自衛隊の皆様の益々のご活躍ご健勝を心よりご祈念申し上げます。

防衛大臣感謝状を受賞して

岩手三八五流通株式会社
代表取締役社長
平野　浩

この度は、防衛大臣感謝状を賜りまして誠にありがたく感謝申し上げます。
弊社は岩手県盛岡市に隣接いたします紫波郡矢巾町に本社を構え、県内五か所に支店・事業所を配置して地域に密着した生活基盤の根幹を支える物流会社として、関東方面と北東北間の物流を担っております。
現在、弊社には二名の即応予備自衛官を含む十名以上の予備自衛官等が在籍し、自衛隊出身者の総数は二十三名を数えています。中には予備自衛官を上限年齢退職後も元気に勤務されている強者もおられます。
弊社は社会に信頼され貢献できる企業を目指しております。その中にあって予備自衛官採用者は招集訓練で培われている責任感と規律心をもって日々奮闘しており、業務遂行の牽引力となっております。
今後も自衛隊出身者の雇用を積極的に推進させていただくと共に、自衛隊の皆様の今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

防衛大臣感謝状を受賞して

ライジングビル
メインテナンス株式会社
代表取締役社長
中村　恭俊

この度は、弊社の予備自衛官雇用に対しましてご評価いただき防衛大臣感謝状を賜り誠にありがとうございました。
弊社は三井住友銀行の店頭警備を主要業務とする警備会社として、昭和六十二年八月より自衛官の雇用をしております。以来自衛官の雇用実績は約千百名、現在の警備員数は三百五十名でその内九十五名が予備自衛官登録を行っております。
最近は以前の様な凶悪銀行強盗は激減している一方で「オレオレ詐欺」「特殊振込詐欺」といった知能犯罪が激増しており、当社の警備員は自衛隊で培った「小さな変化も見逃さない洞察力」と「規律心」「正義心」「責任感」をもってお客様の被害防止に注力しております。
また、ご高齢のご来店客が多いことから、店内での親切なご案内とご体調不芳な方への救護対応にもあたっており、お客様からの感謝の言葉が当社警備員の励ましになっております。
この度の受賞は弊社警備員全員への激励だと、感謝の気持ちでいっぱいであります。
末筆ですが混沌とする国際情勢の中、国防の重責を担われます自衛隊及び防衛関係の皆様方のご健勝、ご安全を心よりお祈り申し上げます。

社会貢献を担う企業として

株式会社セノン
東京第一支社 支社長
大村 憲司

弊社は、一九六九年の創業以来、「誠実」「厳正」「協和」を社是として、信頼される警備のプロフェッショナルを目指してまいりました。現在は、常駐警備業務、機械警備業務をはじめ空港警備業務、車両運行管理業務等の総合安全サービス企業として事業を展開しております。その中で当支社は東京を拠点として、社員四五〇名中、即応予備自衛官一名、予備自衛官五名が在籍しており、日々業務に精進しております。

近年日本では、大規模地震の発生や地球温暖化の影響に伴う集中豪雨が年々増加する傾向にあり、全国のいつどこで自然災害が発生してもおかしくない状況です。弊社は、即応予備自衛官の意味役割を十分に理解し、有事の際には積極的に協力するとともに、予備自衛官の採用も積極的に行ってまいります。

今後も予備自衛官制度の普及促進、雇用拡大を応援し、社会貢献を果たせる企業の一翼を担っていく所存であります。

予備自衛官等協力事業所表示制度

地本長認定協力事業所を受けて

有限会社ガードシステム
代表取締役
丹 信雄

この度、予備自衛官等制度への協力について高い評価をいただき、地本長認定協力事業所の認定を賜りました。

弊社は、交通誘導、施設警備などの警備業を行う会社として、平成十年創業以来、北海道函館市及び近郊において、工事現場や駐車場などの交通誘導警備業務を約四十名の従業員で担っております。

警備業は職務の特性上、体力面はもちろんのこと、高い規律心や旺盛な責任感が必須となります。弊社には即応予備自衛官が1名在籍しておりますが、彼は規律正しく、責任感と体力を兼ね備えており、自衛隊で培われた能力を十分に発揮し、弊社に大きく貢献していただいております。

今後も、引き続き仕事と訓練を両立できる環境を整える等会社として協力し、予備自衛官等制度の普及促進、雇用拡大を応援していく次第です。

最後に、地本長認定協力事業所の認定を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

地本長認定協力事業所を受けて

有限会社加藤昇降機工業
代表取締役
加藤　誠

弊社は、青森県内のエレベーター・エスカレーター等の保守点検を行う会社で、コロナ禍の中「安心・安全」を第一に心掛け地域社会に貢献できる企業を目指しています。

現在、弊社に勤務している息子が平成十七年から即応予備自衛官として在籍しており、東日本大震災では災害派遣招集を受け、十四日間活動しました。

平成二十八年には「地本長認定協力事業所」の認定を受けることができ、国を守ることへの貢献や災害派遣活動等社会貢献の一端を担っていると感じ、誇りに思っています。

厳しい訓練で培った規律心・責任感は、息子の心と身体を大きく成長させ、弊社の勤務の中でも遺憾なく発揮しています。

今後も即応予備自衛官として、日本の「安心・安全」のため、努めてもらいたいと思います。

弊社としても、訓練等に出頭できる環境づくりを整えて、引き続き協力していきたいと思います。

予備自衛官等協力事業所認定を受けて

株式会社日新　四国工場
常務取締役
多田羅　健一

この度は、予備自衛官等協力事業所に認定いただき誠に感謝申し上げます。

弊社は、鳥取県に本社を構え、木材資源の再生産・有効活用と木の文化の継承に努めております。

徳島県の四国工場においては、木材を加工した合板製品を製造しており、現在、一名の即応予備自衛官が在籍し、合板製造ラインにおいて活躍しています。自衛隊での経験を活かし規律正しく真面目に勤務し、他の社員に対しても非常に良い影響を与えてくれていると感じております。

日本を取り巻く国際状況が大きく変化し、自然災害も多発するなど、即応予備自衛官に対する国民の期待も大きくなっているものと存じますので、弊社も訓練等に参加しやすい環境を整え、協力したいと考えております。

最後に、自衛隊の皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

この国の
未来を守る
協力。
企業のCSR向上にも!
社会貢献をお考えの企業の皆様へ
予備自衛官等協力事業所表示制度
JAPAN SELF-DEFENSE FORCE RESERVE
防衛省
DEFENSE
防衛省・自衛隊では、即応予備自衛官・予備自衛官・予備自衛官補を募集しています。
スマートフォンで
いますぐアクセス

招集（教育）訓練の広場

予備自衛官招集訓練

予備自衛官招集訓練を終えて

第三十七普通科連隊
二等陸曹
愛甲　秀明

第三十七普通科連隊第二中隊は、信太山駐屯地において令和三年十月一日から五日の間予備自衛官招集訓練を担任しました。今年度の予備自衛官招集訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令により、それまでの招集訓練は中止となり、今回が今年度初めての招集訓練となりました。準備段階から受付時の検温、発熱時の対応、被服等の交付、宿泊場所の確保や訓練内容の見直し等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため例年に比して準備する事項が多くありました。

一年間に限られた訓練日数の中、より効果的な訓練となるよう「法令を遵守しつつ、如何に興味を持ち、考えさせ、警戒心を涵養するか」答えを直ぐには教えず、自ら考え、状況判断し、行動出来るように様々な資材を活用して訓練を行いました。予備自衛官招集訓練に参加した方々は訓練間よく考え、積極的に質問をする等、一生懸命に訓練に取り組み、その姿を見てとても頼もしく感じました。最後に、一日も早くコロナ禍が終息し何の制約の無い訓練ができる日を願っております。

受付の様子

野外訓練の様子

体育訓練の様子

即応予備自衛官招集訓練

令和三年度Ｆ訓練

第三〇六普通科
直接支援中隊
三等陸曹
井村　勝頼

令和三年十一月二十日から二十三日の間、日吉原演習場において、Ｆ訓練を行いました。

Ｆ訓練は即自招集訓練の総合訓練になるのですが、今年度はコロナの影響により招集訓練を実施できた期間が少なく、即自隊員の練度が不足であったため、区分訓練により実施しました。訓練内容は、車両偽装及びチェーンの脱着、車両誘導、索敵訓練を行いました。

索敵訓練では、敵を意識しての行動を重視させるために八九式小銃電動エアガンを第四九普通科連隊に借りて実際に攻撃されるという状況を作りました。普段の訓練とは違い実際に攻撃されるということもあり、各人が敵を意識した行動をしており、各個偽装や隠蔽、掩蔽など敵に見つからないように行っていました。

今回の訓練を通じて敵に攻撃される緊張感や偽装の大切さなどを体感できとても成果のある訓練が実施出来ました。

即応予備自衛官の訓練担当者として

東北方面後方支援隊
一曹陸曹
石井　幸喜

第一〇二補給大隊は平成三十年三月二十七日に仙台駐屯地に新編されたコア部隊です。

私が所属する第一補給中隊は糧食・燃料・需品・水の補給及び入浴・洗濯の需品サービス業務を行い、第一線で活動する部隊の人的・物的戦闘力の維持増進を任務としています。

これらの任務を完遂するために年間を通じて即応予備自衛官招集訓練を実施し、逐次戦力化を図っています。私が主に担当する燃料課目は軽油・灯油・ガソリン等燃種毎に危険度が違うことや、ドラム缶等の重量物を取り扱うため、まず座学でしっかりと燃料の危険性や安全管理等を理解させてから、各種器材の操作や燃料の交付要領等実務に沿った訓練を実施するよう着意しています。

その成果により、各種訓練や演習場整備等

支援時に安全かつ確実なドラム缶の補給及び燃料タンク車による給油作業を実施することができ、即応予備自衛官も自信をもって行動しています。

今後も継続的に実務に沿った訓練を実施して、常即一体となり部隊の精強化に貢献したいと思います。

予備自衛官補教育訓練

予備自衛官補招集教育訓練の班長として

東北方面混成団
三曹陸曹
清水目　聖

第一一九教育大隊に異動後、初めて予備自衛官補招集教育訓練の班長として勤務した。短い教育期間だったが密度の濃い訓練内容であった。

主たる教育内容は基本教練であり、徒手停止間及び行進間の動作では当初ぎこちない動作であったが、アドバイスにより次第に滑らかな動作となった。執銃時における動作では慣れない銃の重さに苦戦していたが、銃の保持要領を重視して練成することにより、一つ一つ節度ある動作となった。各予備自衛官補も少しずつ動作を覚えていくことを楽しんでいる様子であった。

予備自衛官補を教育し、日々上達していく様子をみて、私自身も人に教える楽しさを間近で感じることができた。

今後は更に知識及び技能を磨き、より良い教育訓練ができるよう準備したいと思う。

仲間の広場

予備自衛官の仲間から

技能公募予備自衛官になって

自衛隊秋田地方協力本部
予備二等陸佐
山本　高敬

私が予備自衛官を目指した理由は、東日本大震災の中で何も出来なかったもどかしさから、残りの人生を國のために尽くしたいと思ったからです。

五十三歳未満という年齢制限ぎりぎりで予備自衛官補の技能公募に歯科医師として応募し、試験と教育訓練を経て、令和二年一月十九日付で、技能公募予備自衛官に任用されました。

教育訓練では、私よりもはるかに若い隊員から懇切丁寧に指導していただいたので、それほど苦労もなく楽しみながら終えることが出来ました。

これから定年までは、有事や大規模災害時における隊員や被災者の口腔ケア、歯による遺体の検死作業などが私の任務だと認識しています。招集命令があれば迅速に対応する所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

予備自衛官になって

自衛隊富山地方協力本部
予備一等陸曹
越前　衛

私は、海上自衛隊航空学生として入隊後、五年間勤務した後、退官して十七年が経ちました。退官時は予備自衛官等制度を理解しておらず自衛隊から離れることとなりました。その後、社会人として生活していく中で、自衛官として勤務した五年間の経験が役に立っていると実感することが多々ありました。そして、予備自衛官募集案内が届いたとき、予備自衛官として必要とされ、再び人の為に活動できる機会があるのだと知りました。

実際は、家族のことはもちろん、海上自衛官だった自分が陸上自衛隊という未知の世界でやれるのか、職場からの理解は得られるのか等の心配がありました。しかし、何事もやってみなければ分からないと行動することで、家族の了承や時間はかかりましたが職場の理解を得ることができました。

多くの方々のご協力・ご理解を頂き予備自衛官となることができたので、その期待に応えられるよう尽力していきたいと思います。

一般公募予備自衛官から即応予備自衛官へ

自衛隊函館地方協力本部
予備陸士長
菅原　雄司

令和三年九月三十日付で念願の即応予備自衛官に任官することができました。

平成二十五年七月一日に予備自衛官補として採用され、平成二十七年一月二十日に一般公募予備自衛官として任用されてからは、仕

事と両立しながら予備自衛官招集訓練へ毎年かかさず参加しておりました。

平成三十一年四月から、一般公募予備自衛官から即応予備自衛官を目指すことができることを知り、昔から自衛隊が好きだった私は、「目指してみたい」と思うようになり、職場の配慮もあり、即応予備自衛官になるための特技取得訓練に参加することにしました。

訓練は、予備自衛官の招集訓練とは大きく違い本格的な訓練も多く、はじめは戸惑いましたが、周囲の即応予備自衛官の方々や第五十二普通科連隊の方々のご支援、ご指導により無事乗り切ることができました。

今後は即応予備自衛官として、国防・災害派遣等幅広く活躍できる隊員になれるよう努力していきたいと思います。

予備自衛官として

自衛隊旭川地方協力本部
予備二等陸尉
尾﨑　史朗

今年も予備自衛官招集訓練の封書が届き、いつものように訓練日程等を確認してから職場の上司との調整を終えて、訓練招集予定の書類を提出しました。

早いもので定年退官してから六年、任期は三任期を迎えました。現職自衛官の時と比べると健康管理、体力面において、計画的な健康管理や体力錬成の意識が低下しているのも事実ですし、年々、体力の衰えを自覚しているもののなかなか体力錬成が出来ないのが現状です。しかし、予備自衛官である以上、いざという時に「役に立つ」自衛官でありたいと思っております。今後は少しの時間でも努めて体力錬成を実施しようと思います。

数年前は、自衛官の募集に関わり一名の入隊者を獲得し地方協力本部長からの表彰を受けました。またこのコロナ禍に負けず現職自衛官、予備自衛官も互いに元気に良い訓練が実施できることを心から願いつつ次回の招集訓練を目指し精進していきたいと思います。

切磋琢磨

自衛隊千葉地方協力本部
予備一等陸曹
和田　健一郎

私は市議会議員とラジオ放送局を管理する無線従事者をしております。これからの市と自衛隊の協力が話されている中で、予備自衛官として私の技能が貢献できる事を知り、その懸け橋として頑張りたく志願致しました。

予備自衛官となり良かったと思うのは、様々な背景を持つ仲間達と出会い切磋琢磨できたことです。私として教育訓練後も不安で

あった射撃も、皆から教えてもらえたおかげで上達し合格できました。

仕事との両立は大変ではありますが、議長、議会事務局、支持者はじめ多くの理解ある方々のお陰で参加できております。地方協力本部から議会へ協力の文章を送っていただいておりますが、その日程に可能な限り調整していただいている事など、あらためまして感謝申し上げます。

これから志願を考えられている皆様へ、国を支える力である予備自衛官は国民や地域と自衛隊との懸け橋でもあります。社会貢献を考えている方は是非ともチャレンジして下さい。

即応予備自衛官の仲間から

志願お待ちしてます

第三十八普通科連隊
即応予備三等陸曹
後藤　侑毅

任期満了退職して早五年が過ぎ、退職後も自衛隊及び社会に貢献したいという思いと、原隊で培った特技を生かし活躍したいという思いから即応予備自衛官を志願し、第三十八普通科連隊に配置になりました。

最初のころは仕事と招集訓練の両立に不安がありましたが、幸い職場の皆様の理解と協力及び第三十八普通科連隊の皆様方のご指導により不安もなく招集訓練に参加できていると感じています。令和元年台風十九号被害による災害派遣時には職場の先輩から「頑張って来い」などと声をかけていただき、延べ十九日間、不明者の捜索や支援物資の輸送、被災地の復旧に全力を尽くし、任務を全うすることができました。

即応予備自衛官になって一番印象に残っている点は、即応予備自隊員は多種多様な本業を持ち、原隊も普通科以外の職種隊員が多数所属していることから彼らと交流することで見聞が広がり、自らの成長ができたのではないかと思えることです。皆良き理解者であり、今では招集訓練がとても楽しみです。

今後も周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず、日々の仕事と出頭訓練の両立に精進してまいります。

最後に、任期制隊員及び公募予備自衛官の皆様との新たな出会いを期待し、即応予備自衛官への志願をお待ちしております。

即応予備自衛官になっての感想

北部方面後方支援隊
第一〇四補給大隊
即応予備一等陸曹
大川　礼子

即応予備自衛官になって二十年が過ぎました。

現職の頃は、補給処勤務だったため、野外

勤務の経験はほとんどなく、即応予備自衛官になって初めて野外での訓練を経験しました。

野戦特科部隊から始まり、普通科部隊、後方支援隊と三つの部隊の招集訓練に参加させていただきましたが、それぞれの部隊での任務や役割によって招集訓練の内容も違っていました。

野戦特科部隊では、通信小隊で有線通信手を担当し、広い演習場内で車両に乗り、有線通信の構成・撤収作業を経験させていただきました。

普通科部隊では、野外炊事訓練に参加し、早朝から食材の切り分けや、仕込み作業、配食などを経験させていただきました。

現部隊の北部方面後方支援隊第一〇四補給大隊では、補給品の取扱いについて研修や実習をさせていただいています。

補給品の取扱い品目は数が多く、それに伴う訓練も奥が深く興味は尽きません。

また、冬季訓練や射撃訓練、雪壁作り、厳寒の天幕宿営訓練などにも参加させていただきました。

このような多彩な経験が出来たのは即応予備自衛官の仲間達の協力と常備自衛官の皆さんの適切なサポートの賜物であり、心から感謝しています。

定年までの残り二年を悔いが残らないように頑張りたいと思います。

即応予備自衛官の招集訓練に参加して

第三十一普通科連隊
即応予備陸士長
安彦　就平

私は、令和二年四月に即応予備自衛官に採用され、第三十一普通科連隊第二中隊に配属されました。夢を追い自衛隊を退職した後、「困難に何もできない自分が嫌だ。」と思い、予備自衛官を志願し、その二年後に即応予備自衛官になりました。

現在は、納期が決まっている仕事をしている関係上、年間三十日間の訓練に参加するためには、職場の上司や同僚の理解が不可欠です。訓練に参加できるよう調整をしていただける職場の皆様には感謝しています。

即応予備自衛官の訓練に参加してみて、忙しい中でも体力錬成の時間を作り、災害派遣等の実招集に備えている先輩方を見て、大きな刺激を受けました。また、中隊の若年層を主体とした、新規採用の即応予備自衛官へのサポート体制もあり、わからないことが多いながらも、初年度から安心して訓練を受けることができたことにも感謝しています。

新型コロナウイルスの影響により、令和二年度及び令和三年度は訓練が中止となることも多かったですが、これからも年間三十日間の訓練出頭を目指し、職場の理解を得ながら、体力と技能の向上を図り、即応予備自衛官としての職務に邁進していきたいと思います。

予備自衛官補の仲間から

予備自衛官補になって

自衛隊滋賀地方協力本部
予備自衛官補
本多　真理人

私は、防衛大学校を受験した際にお世話になった広報官の方から勧められ、将来の経験を積むため予備自衛官補に志願しました。

過程ごと五日間行われる教育訓練は、初めての連続です。集団生活から訓練まで、普段の生活では体験できないことが5日間にはあります。特に、様々な年齢、キャリア、思想を持つ仲間との集団生活は、意見の相違から対立することもありますが、相手のことを考える絶好の機会となり自分のコミュニケーション能力の向上へと繋がりました。

まだまだ予備自衛官への道のりは長いですが、大学での勉強と両立しつつ、これからも精進していきたいです。また、私が予備自衛官補として訓練に参加できているのは、家族友人のおかげであり、そのことを忘れずにこれからも訓練に参加していきます。

私は私ができることを

自衛隊栃木地方協力本部
予備自衛官補
髙橋　朋子

東日本大震災を経験し、自分の無力さと悔しさを感じました。本属を志していく友人達の傍ら、私は私ができることをやろう！と予備自衛官補を志願しました。

訓練は、非日常の連続！銃取り扱い（銃の重みは命の重み）、戦闘訓練（地面は友達！第五匍匐）、催涙剤（みんな号泣）、掩体構築（掘った地質は岩ばかり）、二十五㎞行進（気分転換のひとりしりとりは五分で断念。飴は神様）。

厳しい訓練も同期と励まし乗り越えられたことで、私の自信となりました。傍ら、本属の訓練を見ると、何時も有事に備えており、雨垂れ石を穿つの精神に毎度脱帽します。

私は普段警備業に従事しており、訓練に参加することでスキルアップにも繋がると快く送り出してくれる会社には本当に感謝しております。今後は、即応予備自衛官を目指し日々錬成・招集訓練に励みながら、退職される自衛官の方への就職の窓口として活動していきたいです。

最後に、いつも手厚く、時に厳しく、時にユーモア溢れたご指導をいただき、要員の方々には深く感謝を申し上げます。

予備自衛官補になって

自衛隊札幌地方協力本部
予備二等陸曹
古瀬　祐次

東日本大震災の災害派遣で自衛隊の活躍を何度も目にしたのをきっかけに自衛隊の活動に興味を持ちました。毎年のように起こる災害への派遣活動、新型コロナウイルス感染による客船や病院でのクラスター発生に伴う看護官の派遣活動などを知り、「私も何かできないか」という思いで胸がいっぱいになったことを忘れません。看護師の資格を活かし微力でも有事の際に貢献したい。そして、自分のスキルアップにも繋がると思い予備自衛官補（技能）に志願しました。

周りの人からは自衛隊は厳しくつらいと聞いていました。しかし、基本教練、実弾射撃などの訓練、また衛生隊による技能枠での演習は実りのあるもので、とても親切で丁寧な訓練となりました。一緒に訓練を受けた仲間達とも絆が生まれ、最終日には団結することができました。全十日間の訓練を終了し予備自衛官となり、災害派遣等の有事の際は貢献したいと強い思いでいっぱいです。毎年の訓練に参加して自衛官に必要な知識を学び、スキルアップに努めたいと思います。

私の職場は災害拠点病院の指定を受けており予備自衛官の活動に理解を得て頂いています。忙しい職場で上司、同僚などの理解と協力で訓練に参加することが出来ており、とても感謝しています。今後は基本訓練で学んだ「感謝無敵」のお言葉を胸にすべての人に感謝しつつ有事の際に任務を遂行できるよう毎年の訓練に参加していきたいと考えています。

雇用企業の皆様から

予備自衛官等を雇用して

あまい住設株式会社
代表取締役
天井　美香

平成十三年即応予備自衛官として採用された主人が創業した弊社は社員六名の住宅設備会社です。現場作業トップである主人の訓練日程は第一番に月間予定表に記され、不在間の現場調整等、従業員が進んで行い訓練に送り出しております。弊社従業員、関連会社様の即応予備自衛官への理解度は高く平時訓練、災害派遣も比較的スムーズに出頭出来ていると思います。そうした理解、年間三十日に渡る訓練も、地方協力本部の方々のご支援や所属中隊の常備自衛官の方々の訓練内容・現場状況に合わせた柔軟な出頭調整の対応や中隊長様はじめとする細やかな企業訪問などあってのことと思います。また、関係企業様への即自採用の斡旋なども高評価が得られており、弊社としてもプラスの営業効果が出ていると思います。

今後、災害派遣などは無いに越したことはありませんが、非常時の出動、制度の普及促進に微力ではありますが協力させて頂きたいと思います。

即応予備自衛官を雇用して

三喜工業株式会社
代表取締役
菊池　英喜

弊社は、平成二十三年より北海道札幌市西区八軒に本社を置き、土木工事、冬季は除排雪業務を行っており、今年で創業十年目を迎えました。社員は現在三十四名で、創業以来、お客様の信頼と満足の確保を優先させ、一貫して「真心のある施工」をモットーに事業活動を展開しております。

弊社では現在、土木作業員として四名の即応予備自衛官が在籍しております。以前、自衛官として活躍していた社員も複数名おり、土木作業員や重機運転手、現場代理人として現在も弊社で活躍しています。土木作業を行う現場では、危険を伴う作業や場面が多々ありますが、訓練で培われた体力や精神面、経験を活かして業務に励んでおります。有事に備え、訓練を行いつつ仕事に励むという事は、決して簡単な事ではないと思います。社業と訓練を両立する姿を見ていて、大変誇りに思います。

弊社は、今後も即応予備自衛官の雇用を通して、社会に貢献していきたい所存であります。

ご家族の皆様から

両親が予備自衛官

自衛隊高知地方協力本部
予備三等陸佐　**杉本　卓也**
予備准陸尉　**杉本　芳美**
長女　**杉本　陽菜**

我が家は両親共に自衛官でした。当直とか訓練、演習、残業と両親が揃っていることが

少ない生活だったような気がします。しかし、特に父は家事全般をそつなくこなす人ですので子供である私達は何の不自由もなく育ってきました。

そんな両親が、ここ二～三年前に定年退職を迎え「外の世界は厳しい」とか一般人？になった会話の中に「射撃と体力検定は土日にあるんだよ」と懐かしい響きを感じたのです。聞いてみると予備自衛官として自衛隊の訓練に年一回、夫婦揃って参加しているということでした。「ふーん。好きなだけ頑張って！」と少し冷めた口調で返答しましたが心の中では本当に尊敬しています。友人達の親より若々しく前向きな姿を見ていると自衛隊への感謝の気持ちは増すばかりです。

私の目指す薬剤師は予備自衛官補（技能）の受験が五十歳過ぎても出来るとの事ですので、「いつか私も！」なんて考えている今日この頃です。

会社員と即応予備自衛官

第五十二普通科連隊
即応予備二等陸曹
三宅　貴之
妻
三宅　慶子

もうすぐ、即応予備自衛官になり二十年目を迎える夫。会社員と即応予備自衛官という特殊な「二足のわらじ」を履く生活をして、わたしたち家族も二十年経とうとしています。

自衛隊を退職しておよそ半年後には即応予備自衛官となり、環境の変化に慣れるまで一番大変だったのは、夫だったと思います。

それでも時が経ち、今では年間三十日の訓練出頭は、普段の会社員から離れられ、ほど良い気分転換になっていることと思います。

最近では、体力検定前日は緊張してしまうほど体の衰えを感じるようになっています。普段も体力勝負の仕事ですし、仕事の都合で訓練翌日に出勤する時は心配になります。

この先、また災害派遣出動があるかもしれません。身体にはほんとうに気を付けて「二足のわらじ」頑張ってください。家族全員で応援しています。

常備自衛官から
予備自衛官にお願いしていること

第十三特科隊
准陸尉
白土　薫

私は、最先任上級曹長として退職隊員（特に予備自衛官を志願された方）を送り出す際、一つだけお願いをして送り出しています。それは、予備自衛官招集訓練に出頭した際、現役隊員に対して近況報告を含めた話をして欲しいとお願いをしています。

自衛隊を安易に退職希望する自衛官が増加している中、任満後の再就職で出社拒否や早期辞職が増えています。安易な気持ちでの退職を防止するためにも、自衛隊ＯＢの方々からの情報共有により、退職希望者の意識を改革させ、将来を見据えた人生設計をして欲しいと考えています。一社会人から見た自衛隊、

地域の人から見た自衛隊の印象及び企業からの生の声を後輩隊員へしっかりと届けて欲しいと思っています。その情報共有で、自分がやりたい仕事に就き、幸せな人生を過ごして欲しいと願っています。

隊員とのつながりを大切に

第四十六普通科連隊
最先任上級曹長
准陸尉
田中　精二

この度、寄稿の機会をいただいた広島県海田市駐屯地に所在する第四十六普通科連隊の最先任上級曹長を務めます田中准尉です。

我が連隊から予備自衛官を志願し、採用される隊員が通年多いことは、部隊として誇らしく又頼もしい限りです。

招集訓練で来隊した際に元気な姿を見かけたり、新しい職場での勤務や生活の話を聞くことで送り出した部隊としては、感慨深いものがあります。

また、採用していただいた企業様にも、我々自衛隊の必要性、活動内容を御理解いただき、従業員を快く招集訓練に送り出してもらい心より感謝いたします。

今後も部隊一丸となり、新しい道を進む隊員に寄り添い部隊とのつながりを維持できるように尽力したいと思います。

誇りと自信

自衛隊静岡地方協力本部
一等陸尉
成清　隆太

私が中隊長として勤務していた当時の予備自衛官等志願率は、五十％程度と非常に低い状況でありました。教育部隊の特性上、災害派遣等の任務経験が無く、いざと言う時に活動できるのかという「自信の無さ。」が志願しない理由でした。私は、このような隊員に対し、自身の要望事項でもある「誇りと自信」について伝えました。大切な家族や仲間を守る国防という任務にまい進したことへの「誇り」、昼夜問わない厳しい訓練、仲間との絆の大切さを経験した「自信」。これらは、退職しても生涯の財産となり、国民はその力を頼りにしているということ。いざと言う時に「誇りと自信」をもって任務にまい進してもらいたいということを理解させました。その甲斐もあってか志願率及び予備自衛官等制度へ興味を持つ隊員が増えました。

この先、いざと言う時には予備自衛官等という人的基盤が必要になります。退職後も自衛隊で培った力を、必要とする国民のために役立ててもらいたいと思います。私も、立場は変わりましたが、「誇りと自信」を持って予備自衛官等の魅力や重要性を更に発信していきたいと思います。

予備自衛官と共に

東北方面後方支援隊
准陸尉
中川　篤

これまで数々の先輩が退職される姿を見てきたとともに、私の所属部隊にも退職を控え

ている多くの先輩が現在も勤務しています。
その先輩達から、後任者の育成はもちろんのこと、新隊員の募集難、即応予備自衛官の志願率低下、予備自衛官の確保などについて今後の部隊を心配する意見を沢山頂いてきました。
このような先輩方が実際に予備自衛官として志願し採用され、陸上自衛隊に貢献したいと話されていることを聞き、部隊の先任上級曹長として勤務している私は、服務指導の一環として所属隊員に退職時の予備自衛官志願を呼び掛けていく必要性を実感しました。
これからも常備自衛官、予備自衛官関係なく、ともに訓練・勤務し易い環境の構築に努め、先輩達はもとより後輩も進んで予備自衛官に志願して訓練に参加し精強な部隊育成に少しでも貢献していきたいと思います。
そのためにもまずは私自身、先任上級曹長として、最新の予備自衛官等制度に関する知識を十分にし、各隊員へ確実な進路指導に反映できるように取り組んでいき、予備自衛官等業務に寄与できるようにしていきたいです。

地方協力本部担当者から

予備自衛官業務に携わって

自衛隊福島地方協力本部
二等陸曹
田中　佑典

昨年夏、私は福島地方協力本部援護課予備自衛官班に異動しました。班の雰囲気が良く、予備自データの管理要領など複雑な業務をかみ砕いて親身に教えていただいております。
教わる中で心に残る言葉がありました。それは「予備自衛官に寄り添いなさい」です。これは予備自衛官一人一人が様々な事情があり、その中での訓練への参加だから調整の際はそこを考えなさいという業務の教えでした。
そのような中、一人の予備自衛官との出会いがありました。その人は毎年必ず5日間訓練に出頭し、勤務成績も良好な隊員でしたが、その年に限って出頭を躊躇していました。何度か連絡し話を聞くと「最近体力がなくなった。出頭訓練自体はできるが、我々は有事の際に出動し自衛官として動かねばならない存在だ。そんな者が足や腰が痛い、血圧が高いでは戦えない。だからせめて今年は治療に専念したい」という話を伺ったからです。
私はこういう人が同じ自衛官であることに誇りを感じると同時に、このような考えの下に訓練に参加している人もいるということを心に留め、これからも予備自衛官に寄り添うことを決して忘れずに予備自衛官業務に邁進していきたいと思っています。

予備自衛官等福祉支援制度とは

1　この制度は、予備自衛官・即応予備自衛官または予備自衛官補本人、配偶者、子供及び父母が亡くなられたときに**死亡弔慰金**、本人の結婚や子供が誕生したときに**祝金**、そして傷病により入院（連続30日以上）したときに**入院見舞金**が支給されます。

2　この制度は、招集訓練時の不慮の事故（死亡・後遺障害・入院・通院）の場合は**災害補償**が適用されます。

3　3年以上加入し、脱退した場合には、加入期間に応じ「**相互扶助功労金**」が給付されます。

加入資格について

予備自衛官・即応予備自衛官または予備自衛官補である者。ただし、加入した後、予備自衛官・即応予備自衛官または予備自衛官補を退職した後も、**満64歳に達した日後の8月31日まで継続することができます。**

会費について

・予備自衛官・予備自衛官補　毎月９５０円
・即応予備自衛官　毎月１０００円
※３ヵ月分をまとめて３ヵ月毎に指定の口座より自動引き落としになります
注：予備自衛官等を退職した時、制度脱退の連絡がないと、会費は引き続き引き落としになりますのでご注意下さい。

◎ご質問・資料請求は以下のいずれかにお願いします。
・各自衛隊地方協力本部
・公益社団法人　隊友会予備自衛官等福祉支援制度事務局
〒１６２－８８０１　東京都新宿区市谷本村町５の１
ＴＥＬ：０３（５３６２）４８７２
E-mail：fukushi@taiyukai.or.jp

■読者プレゼント（ご意見大募集）

今年で、53号となるパワーリザーブ（年1回発行）ですが、読者の皆さんからのご意見を募集し、さらにパワーアップした教養資料としたいと思います。

Eメールか郵便ハガキに次の4つの質問の回答と、**郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号**を明記の上、ご意見ください。

質　問

1. 本誌の記事等で関心があった（面白かった）ところ
2. 今後、記事に追加して欲しいこと
3. 本誌の記事等で内容を変更して欲しい（不要な）ところ
4. 本誌に対するご意見、感想など、御書き添えください。

ご意見いただいた方にもれなく、下記予備自衛官制度広報グッズを1点、お送りします。ただし無くなり次第終了とさせていただきます。

※締切　2022年10月31日まで
皆様のご意見お待ちしております！

オリジナルフェイスタオル等
※デザインなどは変更になる場合があります

連絡先：防衛省陸上幕僚監部人事教育部人事教育計画課予備自衛官室パワーリザーブ担当者

〒162-8802　東京都新宿区市谷本村町5-1
TEL：03-3268-3111（内線40647）
E-mail：ppl_rp_office_g@gso.mod.go.jp

宣　誓

【予備自衛官】

私は、予備自衛官たるの責務を自覚し、常に徳操を養い、
心身を鍛え、訓練招集に応じては専心訓練に励み、
防衛招集、国民保護等招集及び災害招集に応じては
自衛官として責務の完遂に努めることを誓います。

【即応予備自衛官】

私は、即応予備自衛官たるの責務を自覚し、常に徳操を養い、
心身を鍛え、訓練招集に応じては専心訓練に励み、
防衛招集、国民保護等招集、治安招集及び災害等招集に応じては
自衛官として責務の完遂に努めることを誓います。

【予備自衛官補】

私は、予備自衛官補たるの責務を自覚し、
常に徳操を養い、心身を鍛え、
教育訓練招集に応じては
専心教育訓練に励むことを誓います。

予備自衛官の歌

光かざして

作詞　太田武彦
作曲　山村英雄

一、のぼる朝陽よ　さわやかに
平和みなぎる　明けの空
いま現われる　山河に
若い血潮は　もえあがる
ああ　われら　栄える予備自衛官

二、はずむ心よ　わが友の
職場持場は　わかれても
手と手をつなぐ　どこまでも
固い誓いを　この胸に
ああ　われら　栄える予備自衛官

三、虹のかなたよ　晴れわたる
理想をかかげて　たからかに
この日本を　守ろうと
使命は重く　とこしえに
ああ　われら　栄える予備自衛官

予備自衛官標旗

即応予備自衛官
シンボルマーク

予備自衛官補標旗

予備自衛官等制度ウェブサイト

スマートフォンで
いますぐアクセス

予備自衛官
即応予備自衛官
予備自衛官補

第53号

2022年(令和4年)4月1日刊行　　発行:防衛省陸上幕僚監部人事教育部人事教育計画課予備自衛官室